

しょうわ 議会だより

第 29 号

平成16年

4月25日

3月定例議会



▲第1保育園入園式
(4月5日)



おもな内容

平成16年度 当初予算 (2～3ページ)

3月定例会で決めたこと

ほか議会のうごき (4～9ページ)

一般質問 村の姿勢を問う (10～12ページ)

読者シリーズ 聞きたい 知りたい みんなの声 (14～16ページ)



字が大きくなって見やすくなりました。

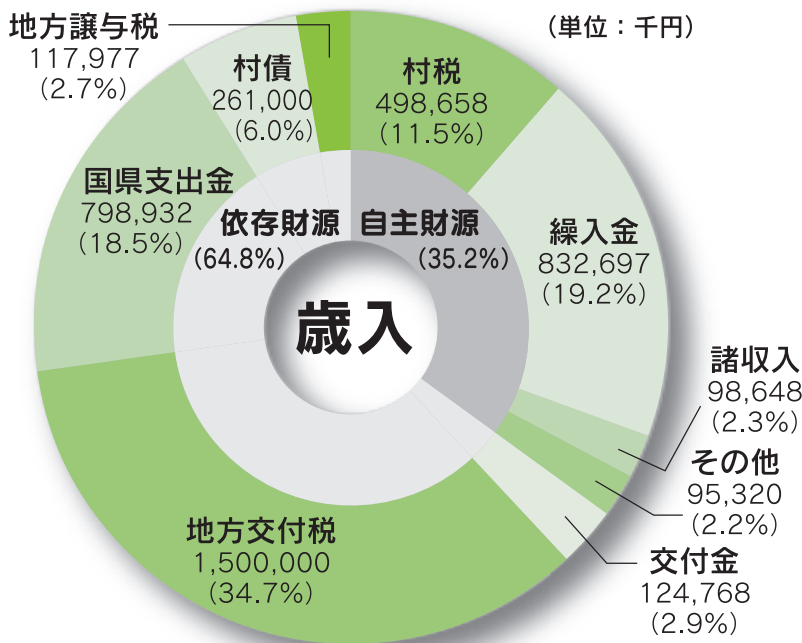
平成16年度 昭和村予算

総額69億5086万円

一般会計43億2800万円

3月定例会は、3月8日(月)から18日(木)までの11日間の会期で開催しました。平成16年度一般会計・特別会計予算を含む議案27件、人権擁護委員の推薦に関する諮問2件、議員発議による特別委員会の廃止1件が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

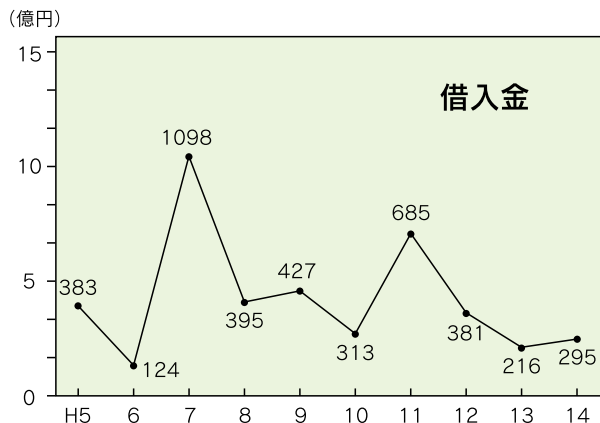
最終日の一般質問では、3名が登壇し、村の姿勢を問いました。(請願・陳情6件についての審議結果は14ページに掲載)



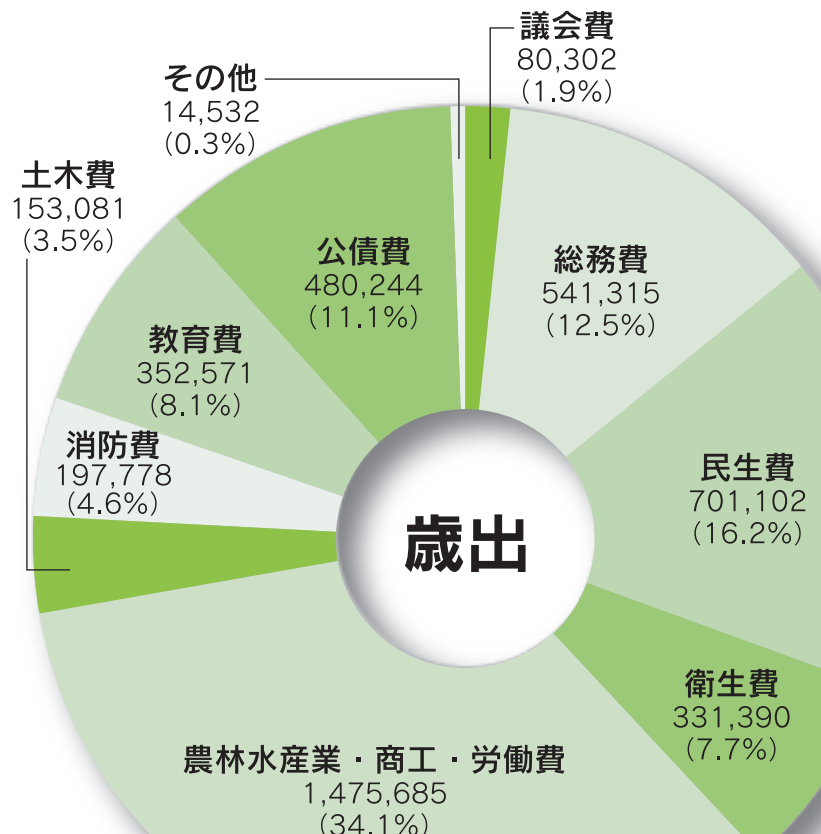
歳入

昨年と比べて
 地方交付税が △5000万円
 国庫支出金が △8625万8千円
 村債が △6000万円
 となるなど、厳しい財政状況です。

自主財源…村が自主的に収入しうる財源
 依存財源…国、県からの交付・割りあてられる財源



村債の推移



歳 出

費目別の増減 (対前年度予算△は減)

議 会 費	△	320万8千円
総 務 費	△	5110万1千円
民 生 費	△	1億6831万2千円
衛 生 費		2713万6千円
農林水産業費		3億1393万7千円
土 木 費		1699万4千円
消 防 費		1092万6千円
教 育 費	△	568万5千円
公 債 費		2574万9千円

性 質 別

義務的経費	15億1430万7千円
（人件費	7億7422万1千円）
（扶助費	2億5984万2千円）
（公債費	4億8024万4千円）
投資的経費	9億3004万1千円
（普通建設事業）	
その他経費	18億8365万2千円
（物件費、補助費等、積立金、繰出金等）	

今年度の主な事業

農林水産業費

- ・家畜排せつ物の適切な処理を行うための堆肥発酵施設の整備
- ・農地等高度利用促進事業追分地区の区画整理事業

民 生 費

- ・学童保育施設整備の実施（大河原小学校区）
- ・特別養護老人ホーム建設費負担金
- ・子育て支援センター事業



土 木 費

- ・中野横断道路望郷ライン舗装工事
- ・古宮追分線の融雪施設設置工事

消 防 費

- ・ポンプ車及び小型動力ポンプ付積載車の導入（第1・第2分団）

教 育 費

- ・大河原小学校校舎・屋体耐震診断実施
- ・総合運動公園野球場防球ネット工事



簡易水道事業特別会計 1億1352万2千円

前年度比 2147万円の減額

おもに、歳入は使用料及び手数料が5379万円、繰入金が5588万3千円。歳出は総務費8831万2千円（人件費・事業費含む）、公債費1662万7千円。減額理由は営農飲雑用水施設整備事業の配水管布設・給水管付替工事の完了に伴う水道事業費の減による。

農業集落排水事業特別会計 3億4224万1千円

前年度比 1億3597万6千円の減額

おもに使用料及び手数料3632万1千円、繰入金2億1192万6千円、村債3830万円。歳出は公債費1億6512万7千円、総務費7196万9千円、戸別浄化槽事業費6211万円。減額理由は補助金、事業費ともに、永井・入原地区の事業が最終年度となり、事業量の減に伴う減。

介護保険特別会計 4億4558万2千円

前年度比 1762万9千円の増額

おもに歳入は、国庫支出金1億1458万3千円、支払基金交付金1億3768万8千円、保険料6586万5千円。歳出は保険給付費4億3027万7千円で、これは介護高齢者になった方の、施設・居宅サービス利用推計に、介護報酬単価を乗じたもの。

特別会計予算

国民健康保険事業特別会計 9億821万7千円

前年度比 5186万3千円の増額

おもに、歳入は保険税3億4883万円、国庫支出金3億8910万2千円、療養給付費交付金3955万3千円。増額理由は保険税課税分であり、減税分として一般会計から、7000万円を繰入。歳出は、保険給付費5億3808万2千円、老人保健拠出金2億5554万3千円。老人保健法改正により74歳までは一般被保険者のため医療費等が増額。

老人保健事業特別会計 8億1330万2千円

前年度比 6328万1千円の減額

おもに、歳入は支払基金交付金5億6831万4千円、国庫支出金1億6160万9千円。歳出は医療諸費8億1072万5千円で全体の99.7%を占める。減額理由は、老人保健法改正により国保会計への移行分。

こういふことが 決まりました

3月定例会

条例制定

村政への村民参加を

昭和村情報公開条例の制定

(全員賛成)

これは、公文書の公開を求める村民の権利を明らかにするとともに、村民参加の開かれた村政の推進を目的とした条例です。

平成16年10月1日から施行され、公文書の公開を請求する場合は、氏名・住所・内容等記載した請求書の提出が必要です。

昭和村借上賃貸住宅条例の制定

(全員賛成)

昭和村の借上賃貸住宅は、民間で建築した賃貸住宅を村で一括して借り上げ、入居希望者に転貸する方式となつています。

条例の主な内容は次のとおりです。

①近隣の民間賃貸住宅の家賃水準を考慮し、建て主と協議して借上料を定める。

②入居者の選定は入居者

審査委員会を選定による。

③家賃の助成額は、毎月の借上料に規則で定める率(30%以内)を乗じて得た額の相当分とする。

④敷金については2ヶ月分の家賃に相当する金額とする。

⑤入居期間は5年以内だが、必要があると認めると同等な理由があれば、2年間に限り延長できる。

条例改正

昭和村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

公職選挙法の改正により新たに期日前投票制度が創設され、従来の不在者投票を改め、選挙期日前でも、選挙期日同様投票ができるようになりました。それに伴い、期日前投票所の投票管理者報酬(月額1万900円)・投票立会人報酬(月額9千300円)を設定するものです。

昭和村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正

(全員賛成)

昭和村簡易水道設置使用管理条例の一部改正

(全員賛成)

昭和村総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正

(全員賛成)

福祉センターの利用料金区分について身体障害者手帳の交付を受けている方のほか、同等の障害を有すると認められる方(精神、知的の障害等)へと料金設定の区分が拡大され、県が認定した手帳等の提示により、村内100円、村外300円で利用できます。

国保税の納期が

かわります

昭和村国民健康保険税条例の一部改正

(全員賛成)

今まで国保税の納期は、年間6期でしたが、平成16年4月から10期に変更するものです。

昭和の森の設置及び管理に関する条例の全部を改正

(全員賛成)

地方自治法の改正に伴い公の施設の管理方法が管理委託制度から指定管理者制度に移行され、外部委託先の枠が自治体出資法人から民間営利企業に全面的に開放となったことから、「昭和の森」の管理業務は指定管理者(村長の指定する法人・その他の団体)に行わせることになったためです。

第一保育園が

新しくなりました

昭和村保育所設置条例の一部改正

(全員賛成)

第一保育園の完成により、位置が変更したことによるものです。

新 昭和村大字系井

1757番地1

旧 昭和村大字系井

1308番地1

昭和村高額療養費貸付
基金設置条例の一部を
改正

(全員賛成)

この貸付を受けられる
額は、高額療養費の80%
以内です。社会保険各法
の改正による高額療養費
の算定基準額の改定は、
今後も予想されることか
ら、各保険法の高額療養
費の額を引用し、それに
あわせた貸付額の算定が
できるようにするための
改正です。

その他

昭和村芝生公園整備工
事請負契約の変更

(全員賛成)

広場・歩道透水性カラ
ー舗装工、メッシュフェ
ンスの延長の増加、望遠
鏡の新規設置、公園灯の
1基追加等によるもので
す。当初請負額1億5千
15万円、変更請負額1
億5,712万2千円で、
697万2千円の増額で
す。

昭和村小口資金融資促
進条例の一部を改正

(全員賛成)

群馬県小口資金融資促
進制度要領の改正に伴
い、中小企業者の資金調
達の円滑化政策の一環と
して、既往債務について
平成15年4月1日から、
平成17年3月31日までの
間に融資申し込みがあつ
た場合に限り、この条例
に基づく融資の借換がで
きる制度が設けられまし
た。

村道路線の認定

(全員賛成)

県営赤城西麓土地改良
事業により整備した中野
の昭和第4地区・6工
区、利根沼田区域農用地
整備事業により整備した
道路、路線延長332以
上を認定しました。

群馬県市町村会館管理
組合の規約変更・群馬
県市町村総合事務組合
の規約変更(全員賛成)

諮問

人権擁護委員に

今橋氏、真下氏を推薦

(全員賛成)

現在、人権擁護委員の真下郁男氏・今橋憲雄氏が平
成16年7月31日、任期満了を迎えるにあたり、今橋憲
雄氏(滝久保)を再任、真下郁男氏の後任として真下
泰治氏(森下上)を推薦することに決定しました。

議員発議

市町村合併問題対策特別委
員会を廃止
(全員賛成)

市町村合併問題対策特別委員会は議員16名全員が委
員となっており、平成14年9月18日に設置されて以来、
1年半にわたり、調査研究を続けて来しました。

昨年12月定例議会において、「自主自立」の方向が
決定され、所期の目的が達成されたため廃止すること
に決定しました。

補正予算
—平成15年度—

一般会計

歳入・歳出それぞれ4千668万8千円を減額し、
総額は44億4千888万3千円です。

内容は平成15年度補助金及び各種事業等の見直し
に伴う過不足の調整となっています。(全員賛成)

特別会計

国保会計

歳入・歳出それぞれ1千962万4千円を減額し、
総額は8億7686万5千円です。

おもに歳入では、療養給付費等交付金の減、歳出で
は保険給付費の減となっています。(全員賛成)

老人会計

歳入・歳出それぞれ1億4千114万9千円を減額
し、総額は7億8千314万3千円です。

歳入では、支払基金交付金の減、歳出では老人保健
法の改正により老人の減少と、医療費が例年よりかか
らなかったための減となっています。(全員賛成)

簡水会計

歳入・歳出それぞれ4千683万5千円を増額し、
総額は1億8千246万9千円です。

おもに北部簡易水道の給水区における域増圧ポンプ
設置工事、営農飲雑用水施設整備事業の道路復旧工事
に伴う増となっています。(全員賛成)

農集排会計

歳入・歳出それぞれ5千114万3千円を減額し、
総額は4億4千9万2千円です。

おもに、農業集落排水事業永井・入原地区並びに戸
別浄化槽事業をはじめとする各事業費の確定による減
となっています。(全員賛成)

介護会計

歳入・歳出それぞれ26万5千円を減額し、総額は
4億4千189万8千円です。(全員賛成)

常任委員会のうごき

総務常任委員会

本委員会は、3月15日に開催し、付託された案件の審査を行いました。

平成16年度一般会計予算が地方交付税が年々減となり、たいへん厳しい財政事情ではあります。が、慎重審議の結果、頑張る村づくりに向けての予算ということで原案のとおり賛成多数で可決、決定しました。

次に、貝野瀬地区より出されていました請願、受理番号65号、公衆用トイレ整備については、現地調査を行い、建設はするが場所については地域の要望を考え合わせて決定する方向になりました。

また現在建設中の総合運動公園内の芝生公園の視察も行いました。

4月中には完成し、芝

生広場も夏には利用できるとの説明があり、開園に向けての準備が進められています。10月にはプロサッカーチーム「ザ・スパ草津」を招き、オー

プニングセレモニーを予定しているとのこと。村民の期待にこたえられる公園ができあがると思いますので皆様のたいなる利用をお願い致します。



▲貝野瀬地区

民生文教常任委員会



▲「ふわふわドーム」設置についての説明

本委員会は、3月16日、村長、助役、教育長、関係各課長、係長出席のもと審議を行いました。

平成16年度一般会計予算のうち、民生費については、対前年度費で、第一保育園改築事業の完了により1億6千8百万円強の減額。また、直接住

民生活に関わることは、国保税減額分繰り出し、7千万円、特別養護老人ホーム建設負担金2千万円、在宅福祉事業では、痴呆老人の徘徊防止のために、安心サービスシステム給付費、介護保険低所得者利用軽減対策費、児童福祉費において

は、母親クラブへの支援、大河原小学校区の学童保育事業、第一保育園での地域子育て支援事業等、村を背負ってきた高齢者と、村の将来を託す子供達への配慮がうかがえます。

また、直接村で行っていたゴミ収集事業を民間委託し、資源ゴミは地域で収集方式に移行し、8百万円程度の経費削減を予定しています。

その他、大河原小学校の校舎・体育館等耐震診断委託料や、昭和中和道場の整備、総合運動公園野球場防球ネット工事などが計上されています。

福祉、教育と村民に密接な関係ある予算として聖域で削らない時代もありましたが、財政非常事態に入ってきた今日、効率のよい予算執行を望みつつ、国保・老人・介護の特別会

計も含め、原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、受理番号62号「ふわふわドーム」の設置についてのお願いは、芝生公園の工事進捗状況を見ながら、設置箇所について企画課から説明を受け、先般の全員協議会で確認したとおり、子供達に夢をと言うことで全会一致で採択としました。

産業建設常任委員会

本委員会は、3月11日に開催しました。委員全員、説明者として村長助役、関係各課長、係長の出席により、各付託案件について現地調査のうえ、慎重審議を行いました。



▲芝生公園建設中の展望舎・ローラー滑台

平成16年度予算について、一般会計のうち、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費、特別会計においては、簡水会計、農集排会計の予算を十分審議、検討した結果、国の交付税締め付けにより、厳しい財政下にあるが、本村の基幹産業である農業発展のため、また、各諸事業については、住んでみたい村づくりのための整備であり、村民の望むものとして判断し、予算執行にあ



▲中野上地区の陳情箇所

たつては十分な配慮されることを望み、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。次に請願・陳情では、受理番号63号村道中野上7号線及び中野上10号線の道路改良舗装及び排水溝工事についての陳情で、この路線は起伏のあ

る地形にあり雨水等路面排水等をふまえた中で総合的に考慮していかなければならないので全会一致で採択としました。受理番号64号の「旬菜館」案内看板の設置については、昭和村に他地域からの人を呼び込むためには、案内看板が有効であると考えられます。村でも案内看板を3箇所を目処に計画し、昭和の森ゴルフ場付近に今年度設置



▲昭和村堆肥利用組合堆肥舎

し、後に2箇所くらい考えているとのことであり、必要との見地にたち、全会一致で採択としました。村当局においても財政事情が厳しく、超緊縮予算にならざるをえない今後のことを思い、採択後の事業実施においては、補助金のつくものでの事業の実施をするよう提案しました。

農業集落排水事業対策 特別委員会から

3月10日

農業集落排水事業も、永井・入原地区の污水处理施設が完成し、村が計画したすべての処理場が完成しました。

赤城高原地域に設置する、戸別合併処理浄化槽については、毎年50基前後を整備をして、10力年間で全戸設置される計画となっています。

各地区の接続率ですが、貝野瀬・生越地区

赤城西麓事業対策 特別委員会から

3月10日

82%、糸井・三ツ谷地区65%、昭和南地区62%となっています。永井・入原地区も完成に伴い、接続が始まりました。処理場の有効活用の方からも早期の接続をお願いいたします。



▲永井・入原地区 竣工式（3月30日）

説明者として、赤城西麓整備グループリーダー、赤城西麓土地改良区事務局長出席のもと開催されました。

赤城西麓土地改良事業の進捗率については、平成16年2月現在、全体で73%、昭和村では96%であり、今後は完了地区より換地処分の手続きに入り、平成16年度に終了するの

で、今から換地計画書を組んでいくとの報告がありました。事業完了を間近にして、今後担い手の育成、営農振興等々も具体的に進めていく方向を考えています。また事業負担金、維持管理費の支払いも始まり、これからは水利用をした農業への大きな発展と期待のかかるところであります。

特別委員会のうごき

雪害被害（パイプハウス倒壊）の対応は

全員協議会から

今年1月に開催した全員協議会において、昨年12月の降雪によるパイプハウス倒壊について被害調査の報告を受け、議会は村独自の対応を求めました。

このことについて、村当局から、6つの対応策の説明を受けました。

1. 倒壊したパイプハウスの無料処理

1回目2/9、10
2回目4/13、14

2. 農業用施設災害助成措置の実施



補助内容 農業用施設
取り片付け作業費補助

（2月9日）

全員協議会から



ふれあい グリーンパーク に決定

応募総数50点の中から、多数決により、村総合運動公園内に整備中の芝生公園の名称が決まりました。

(3月18日)

ふわふわドーム設置へ

芝生公園整備に伴い、施設内の遊具について、昨年、若妻会から、「ふわふわドーム」設置の強い要望があり、今回、正式に陳情書が提出されました。これは、幼児から学生までが楽しめるゴムでできているドーム型遊具です。

(1月26日)

村当局より、同遊具が設置されている施設に向いたところ、評判がよいという話であったことや、予算面等の説明を受けました。



▲ふわふわドーム

自主自立へ 向けて

2月9日

加藤村長より、役場各課長と各課主任以上による自主自立対策グループを立ち上げ、意識改革を図るべく、一所懸命努力をしている旨の報告と、2月5日には沼田市の星野市長、金井助役、田村企画課長が来庁し、沼田市・白沢村・利根村合同研究会（編入合併）への参加要請があり、これをうけて議会と再度相談したいと説明がありました。

2月26日

近隣市町村の合併の状況について利根沼田地域市町村合併協議会事務局の見城局長より説明をうけ、西部4市町村の白沢村・利根村への編入合併の対応と今後の進展状況についても活発な意見交換がされました。

3月10日

全議員、全職員一丸となって自主自立に向けて進むために、市町村合併問題対策特別委員会を廃止し、対策グループ、議会各常任委員会での活性化を決定しました。

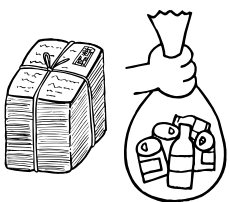
ゴミ収集業務を 委託へ

村当局より、ゴミ収集形態について、今まで村直営でしたが、平成16年度から、業者委託とし、資源ゴミについては、行政区、各団体による集団回収でお願いしていく旨の説明がされました。

住民、各行政区の理解とご協力が必要であるので区長会議や各区の総会等で説明し、了承を得た地区から始まります。

なお、既に集団回収を行っている地区もありますが、新規に始める地区については、混乱のないよう、担当課において分別収集について現場での指導を求めました。

(2月9日)



国民健康保険税に ついて

村当局より、1月29日に開催された国保運営協議会での協議内容について説明がされました。

平成16年度の国民健康保険事業特別会計では、総額で前年度比6・1%の歳出増が見込まれ、国保基金からの繰入ができない状況であるため、今後、国保税率をアップしなければならぬとのことであります。急激な負担増を避けるため、一般会計からの繰入をし、段階的に国保加入者負担の増をお願いすることで、一般会計からの繰入を承認しました。

(2月9日)

ここが聞きたい

村の姿勢を問う



高橋幸一郎議員

職員人事交流の促進について

Q 自主自立を決定した本村にとって、職員をより高い意識レベルにするために、群馬県や自治大学等の研修期間や民間会社等に常五分の一の職員を派遣、交流することが、今後の昭和村の発展に欠かせない最も大切なことと考えます。目標に対する課題解決の為に、わからないこと、曖昧なこと

を放置する事のない、よりよいサービスのできる人材育成が求められています。村長の率直な考えは。

A 村 長

自立を決定した本村にとって今まで以上に自己責任自己決定の原則に基づいて、行政運営を行っていかねばなりません。



ん。本村でも町村職員研修に参加させていますが、職員の資質向上については今後も鋭意努力を続けて行く所存であります。

生活環境を保全する

条例の制定について

Q 私たちのふるさと昭和村は、農業村として景観も素晴らしいと評価されていますが、近年ゴミ等の不法投棄が目立ってきました。今後、観光事業の伸展とともにますます増加する事が危惧されます。

昭和村ふるさとを守り育てる条例が平成11年3月23日、本村の優れたふるさと景観保全の目的で制定されましたが、今後望郷ラインの全線開通、多目的運動公園の有効利用の促進、昭和の森周辺の整備と開発等によりゴ

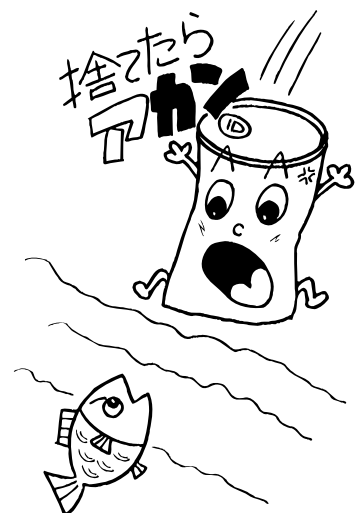
A 村 長

本村のこの恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐことが現世代にいるものの大切な役割であると考えています。本村でも

一部の心ない人達によるゴミのポイ捨て等は、後を絶たない状況にあります。現在公共施設周辺では、各種団体で自主的に環境美化活動に取り組んでいただいておりますが、行政・住民と事業者が一体となり、それぞれの役割を果たし、環境保全に努めなければならな

と考えております。

村独自条例の制定につきましては、住民の環境に対する意識等ふまえて検討していきたいと考えています。



望郷ライン開通に伴うところの

諸問題について対応を

千客万来トイレについて

農業振興地域の

土地利用について

昭和インターより望郷ライン までの道路改修について

Q 昭和インター付近及び望郷ライン沿いの農地の規制緩和については、

て、諸産業や、観光を融合させた形が理想ではないかと考えています。

現在の、農振除外の申請に対し、年1回だった農業振興地域整備促進協議会を6月と12月の年2回開催し、変更についての協議をしています。時代に対応した農地の利用も視野にいられていく所存であります。

Q 望郷ラインの開通に伴い、大型自動車や観光バス等の交通量も、増加することが予想されます。現在の幅員では、インター付近の道路としては、とても中途半端な道路状況でありますので、

要であると認識しています。関係機関と協議をし、財政状況等を十分に勘案し、国庫補助事業を活用して、早期に検討していきたいと考えています。

Q 望郷ライン沿いに建設された公衆トイレですが、利用者から「林の中で見通しが悪く、利用するのに不安である。」との意見が寄せられました。今後の管理や新しく建設計画もありますので、安全で安心して利用できる対策を行っていただきたい。



▲千客万来トイレ

A 村 長

周辺の開発や地域産業の発展を考えた場合、農業の発展を中心にすえ

望郷ライン等の全線開通をはじめとする、開発事業等の進展による、交通量のより一層の増加が予想され、早急に歩道や信号機等の交通安全施設も含めた、拡幅改良が必

A 村 長

望郷ライン等の全線開通をはじめとする、開発事業等の進展による、交通量のより一層の増加が予想され、早急に歩道や信号機等の交通安全施設も含めた、拡幅改良が必



▲昭和インター付近

A 村 長

利用開始から、1年が経過しようとしておりますが、多くの方々にご利用していただくことにより、問題点等を、今後の施設建設や維持管理の参考にし、改善することによって、より安全で安心して利用できる施設へと、機能の向上を図っていきたいと考えています。



堤 盛 吉 議員



林 幸司 議員

アスパラ・ウド等の農業植物残渣と 家庭の生ゴミは堆肥化して活用を

Q 7億円もの補助事業により堆肥施設を整備しているのですが、農業植物残渣を細断し畜産堆肥とともに堆肥化できないか。

生ゴミは有料袋で分別しているので堆肥化すべきではないか。

アスパラの根など村処分場の今後の対策は。

A 村 長

環境にやさしい農業は重要、アスパラ等の粉碎機ストローチョッパーを導入し循環型農業をと考えている。

ウドは萎ちよう病、アスパラはアレロパシー等の生育障害を起こすので、畑へ投与するにはまだ心配があり、村処分場でEM菌により堆肥化状

況にしています。県が、

堆肥化したウドの圃場試験を実施するので安全性が確認されれば堆肥化を

前向きに検討したい。試験結果が良好であるならばアスパラの根株について

でも同様な試験をお願いし対応していきたい。

生ゴミ堆肥は、農家に利用されることが必要で、堆肥組合には計画時に理解をいただいてあり、検討していきたい。

医療費の受領委任払制度を

Q 高齢者高額医療費が償還払いになり、新潟県全市町村が受領委任払制度を実施。喜ばれる制度であり本村でも実施を。

A 村 長

厚生省通知で保険者に委ねられ、昭和村でも非課税世帯に実施してきたが、課税世帯についても検討して行きたい。

高齢者高額医療費については国保連合会との連携が必要なので、情勢を見て検討して行きたい。

高齢者高額医療費は、初回のみ申請、次回からは自動振込にし便宜をはかっています。

国際コメ年と米改革への対応

Q 米改革は、九割の稲作農家を切り捨て、荒廃田んぼが増え、自給率向上にも反するもの。米は、世界半数の主食であり、人口急増で穀物を増産させないと飢餓が増える。

A 村 長

食の安全に対する関心が高まっている今日、村をあげて安心・安全な食糧生産をアピールする対応が求められている。

地域水田農業ビジョンを策定し、水田農業推進協議会を核として対応していきたい。

地域性、消費者、市場ニーズなどに応じた高品質な食糧の生産で、野菜王国昭和村をアピールしていきたい。

県防災衛星通信網とオフトークの今後の対応は

Q 全市町村の66%に防災行政無線が整備され、総務省はデジタル化を推進し、県は各市町村を衛

星通信網で結ぶ新事業に80億円を投入する。

県内の状況、防災行政無線の事業費とランニングコストは。オフトークを更新してはどうか。

A 村 長

防災行政無線は、県下50市町村が整備済み、利根村の整備事業費は約1億8千万円、維持費は年3百万円とのこと。

オフトークは、12年経過し、継続には装置更新に約3千万円、年間維持経費に約1千5百万円かかる。今後10年間に2億円もかかるので、事業継続は困難（廃止）。テレドームを中心に早期に実施をしていきたい。

不登校対策と障害児教育は

Q 不登校対策・対応は。障害児教育の現状と今後の対応は、特学廃止に反対してほしい。

A 教育 長

スクールカウンセラーとの連携強化、くり返し家庭訪問を行うなど対応。

専門の心理士が毎月特殊学級専門指導員として巡回指導。特殊教育部会で特学児童生徒の交流会や合同授業を実施、臨床発達心理士の教員が得られ充実してきた。

国は、平成19年頃に特学廃止を検討しているが、人員カットなら教育の後退となる。



国会陳情

2月18日、早朝、日本の政治の中心永田町、国会議事堂へと
議會議員、村長、そして陳情案件を乗せて一路出発しました。

本村の長年の懸案である「国道誘致」を17号バイパス計画路線延長に伴い陳情を提出しました。あわせて、地元選出国會議員の表敬訪問（参議院議員3名・衆議院議員2名）しました。

一般国道17号線綾戸バイパス計画路線延長に関する陳情書

本州の中央を縦断する一般国道17号線は、首都圏と日本海を結ぶ大動脈ですが、その中央に位置する群馬県においても、観光や物流また日常欠かすことのできない生活道路として地域発展に貢献する最重要道路です。

この一般国道17号線において、急峻な地形による落石の危険等難所となっている綾戸地区にバイパスが計画されておりますが、この綾戸バイパスの早期整備は、首都圏最大の野菜供給地で有ります本村にとって切望する所ではありません。

しかしながら、計画によりますと綾戸地区を抜けた所で現国道に接続される事になっており、この先の岩本地区においても落石による事故等が多発している地区であります。また、本村と国道との間に利根川が流れており、国道へ接続するには遠回りを余儀なくされ、村民の通行をはじめ農産物の出荷や農業生産資材の搬入等に支障をきたしております。この様な状況下であり、国道の村内通過は村民が切望している最重要課題であります。

つきましては、交通の安全を確保する事は基より、地域住民の通行及び物流の要として切望する綾戸バイパスの計画路線を下記のとおり延長していただきたく陳情いたします。

記

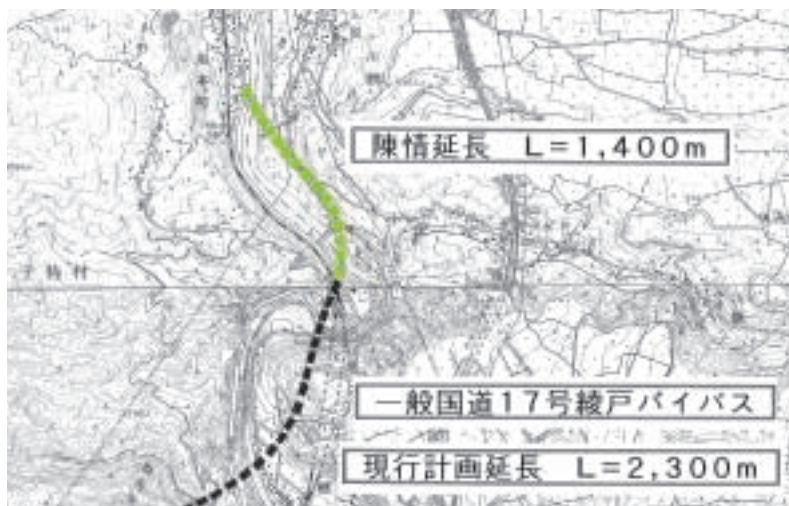
計画延長距離 L = 1,400 m
(現計画終点より利根川を渡り、昭和村へ入り岩本駅手前で現国道に接続する。)

平成16年2月18日

群馬県利根郡昭和村長 加藤 秀 光
群馬県利根郡昭和村議会議長 吉 野 藤 彦

参議院議員 様

▲提出した陳情書



▲■■■■■部分が陳情箇所



▲参議院議員へ陳情





みなさんからの請願・陳情



自 平成15年12月3日 至 平成16年3月1日

受理 番号	受 理 年月日	件 名	陳情者の 住所・氏名	紹介議員 氏 名	付 託 委員会	審議結果
61	H15.12.3	04年年金制度改定に反対し、全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長 関口 昭三 ほか1名	林 幸司	民 文	趣旨採択
62	H16.1.19	陳情書 (「ふわふわドーム」設置についてのお 願い)	昭和村若妻会連絡協議会 会長 保坂 公恵 ほか3名		民 文	採 択
63	H16.2.12	村道中野上7号線及び中野上10号線の 道路改良舗装及び排水溝工事について お願い	中野上区長 吉澤 信男 ほか1名	治田 貞賢	産 建	採 択
64	H16.2.24	国民本位の公共事業の推進と群馬県内 所在の国土交通省事務所の執行体制拡 充を求める陳情書	国土交通省全建設労働組合 関東地方本部群馬県協議会 議 長 永倉 剛		産 建	継 続
65	H16.2.26	望郷ライン沿線の貝野瀬柳反地区内 (中野下)にある、糸之瀬さくらんぼ 研究会共同育成圃場周辺の公衆用トイレ の整備についてのお願い	糸之瀬さくらんぼ研究会 会 長 加藤 次男 ほか4名	横坂 幸也 高橋幸一郎	総 務	継 続
66	H16.2.26	「旬菜館」案内看板の設置について	昭和村農産物直売所利用組合 組合長 加藤 義則	保坂 初次	産 建	採 択

読者シリーズ



くりのみ学園施設長
堤 克彦さん
(63歳)

明るく楽しく 頑張っています

くりのみ学園が利根沼田地区で初めての障害者の施設として昭和村に開設されて25年目に入りました。この間、皆様方の多大な協力とご支援を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。今では福祉は行政の中核の一つとして大きな課題になっていますが、群馬県内でも、それまでは知的障害者の通所の施設は四カ所に過ぎませんでした。当初から昭和村を始め利根沼田地区の婦人会、商工会婦人会、青年団等の皆さんの活動の一環として温かいおつき合いを

させていただきました。今では「明るく、健康で、だから好かれる人」をモットーとして障害者の自立と自己実現の場として職員ともども自己研鑽に努めています。園芸療法を主として、野菜や花の栽培を行っています。栽培や販売等を通して地域の皆さんとの交流を深めていきたいと思っています。また、これからは地域の福祉サービスの拠点として、地域の若い人々を中心に、ボランティア活動等を通して人や自然にやさしい地域づくりに貢献したいと思っています。



たけのこ学園施設長

角田 邦 光 さん
(61歳)

みんな明るく仲良く

38年間の教員生活にピリオドを打ち、縁あって昨年度からたけのこ学園の施設長として就任いたしました。福祉関係の仕事に従事することは初めてであり、見聞きする言葉や書類等がなかなか理解できず右往左往の日々が続きました。しかし福祉協議会や地域の方々そして職場の皆さんの親切なご指導を賜り、何とか一年を終える事が出来ました。たけのこ学園とくりのみ学園の案内板設置に対して、村のご理解をいただき、最近多くなっ

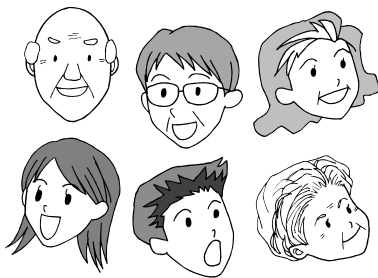
ている福祉施設の職場研修や職場体験学習、販売業者などの訪問に大変重宝しております。また婦人会の皆さんにはボランティアで来園いただきありがとうございます。平成14年度より支援費制度の導入になり、たけのこ学園も人工芝や整地そして園外トイレや作業所など正門付近の整備、利用者部屋の改装やクーラーの設け等を致しました。16年度にはトイレの修理や利用者絵画展示などを計画し、施設内外の充実や利用者の生活向上

を図り、明るい施設運営を心がけております。

現在、たけのこ学園の利用者は入所者50名、短期入所者5名、通所者4名の定員で職員数30名です。みんな仲良く明るく活動ができ充実した人生が送れるように努めたいと思います。



もきたい・知りたい みんなの声



はじめまして



星夜の森学舎施設長

大竹 繁 さん
(50歳)

昨年4月にスタートした星夜の森学舎です。

地元の方をはじめ昭和村のみなさんには開所以来大変お世話になりありがとうございます。おかげさまで持ちまして無事一年目を迎えることが出

来しました。

星夜の森学舎は、知的障害者の通所授産施設で、障害のある方が施設に通いながら作業を通じて自活を図る事を目的とする施設です。現在利根・沼田地区を中心に20名の方が通所し農作業や和紙、受託作業などに携わってもらっています。

学舎にいる時間の大半は仕事になります。が、休憩時間を利用し運動やカラオケなど思い思いの時を過ごし、一年前とは比べものにならないほど緊張感もとれ、リラックスした雰囲気です。みなさん通って来ています。施設として、村や地域のみなさんとは「協調」を

モットーに、地元を根を下ろして行きたいと願っています。まだまだ理解と言う面では不十分なところもあるので、いろいろな機会を通じて知っていただけたらと思います(機会が考えています)。また、現在学舎までの村道が未舗装で、舗装計画等尽力いただいております。近隣の農家のみなさんに迷惑が及ばないよう出来るだけ早い実現をお願い出来ればと思っています。

今後とも村や議会、地域のみなさんとは、いろいろな面でおつき合いをさせていただく事になりますが、肩の力を抜いた自然体を心がけ、障害のある方々が地域社会で共に暮らせるよう応援して行きたいと思っています。のでよろしくお願ひします。

昭和村に来て



中島直子さん
(赤城原第一 38歳)

昭和村に越してきて四年が過ぎました。その頃まだハイハイをしていた娘は第二保育園に通い出し、上の息子も南小学校へ通うようになりました。息子は放課後、南学童クラブでもお世話になっていきます。

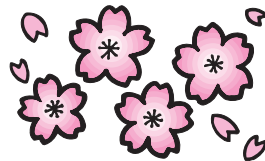
私達は、広々とした所や自然がある所でのびのびと子どもを育てたいという願いでこちらに越してきました。そんな願いを知ってか知らずか、息子は、夏には森に出かけ大好きなクワガタ虫を見たり捕ったり。娘は、花や草の実、木の実等を集めては、ままごとのお鍋に入れてうれしそう

です。予想外だったのは、新鮮な野菜の味を知ることが出来たことです。近所の方から頂いた野菜がとても美味しく、今まで野菜を嫌がっていた子どもが美味いと言って食べたのです。美味しい旬のものは、子どもでもよく分かるんだと感心しました。

子どもの成長とともに興味は変わるのでしようけれど、これからも四季を通して自然と触れ合いながら生活していきたいと願っています。



議会のうごき



1 月

- 4日 昭和村消防団出初式
- 9日 昭和村議会臨時会
- 11日 第46回昭和村成人式
- 26日 議会全員協議会

2 月

- 1日 第36回ピンポンフェスティバル
- 9日 議会全員協議会
- 14日 ウィンターフェスティバルIN昭和2004
- 18日 地元選出国會議員表敬訪問並びに陳情
- 19日 群馬県町村議会議長会定期総会
- 21日 村民文化講演会
- 23日 利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例会
- 26日 議会全員協議会
- 29日 利根沼田区域農用地総合整備事業完工式

3 月

- 2日 議会運営委員会
- 8～18日 3月昭和村議会定例会
- 12日 昭和中学校卒業式
- 14日 第22回村民芸能祭
- 22日 昭和村福祉大会
- 25日 東小学校・南小学校・大河原小学校卒業式
- 26日 群馬県植樹祭昭和村実行委員会設立総会
- 27日 第1保育園・第2保育園・子育て保育園卒園式
- 30日 第1保育園改築工事竣工式
農業集落排水事業永井・入原地区処理施設竣工式

4 月

- 1日 H16年度役職消防団初顔合わせ
- 5日 第1保育園・第2保育園・子育て保育園入園式
- 7日 昭和中学校入学式・昭和東小学校・昭和南小学校・大河原小学校入学式
- 11日 婚姻者の記念植樹
- 13日 議会全員協議会
- 15日 議会広報編集特別委員会



編集室から

春爛漫、高原の大地に一直線の横断道路「望郷ライン」がまもなく全面開通します。三本の橋で大地をつなぎ、その中央に位置する昭和村総合運動公園内に、4月完成の「ふれあいグリーンパーク」。そこには、芝生広場やローラー滑り台、ふわふわドーム等が設置され、自然・人とのふれあいの場となるでしょう。皆様のご利用をお待ちしています。

さて、村は「自主自立」路線を歩むことになりました。厳しい財政を考えるとき、自立しても合併しても大変な時代を迎える事は確かであり、自立した結果として村民が満足できる昭和村にすることが最も望まれるところです。傷みを伴う改革も時には必要となつてきますので、村民皆様の協力で活力ある村を目指して取り組みたいと思います。

正雄記